

平成27年6月第2回幸田町議会定例会 報告 1/2

議会報告 臨時会 二新議会人事二

幸田町議会議員選挙改選後、初の臨時会が5月12日に開催され、新たな議会構成が決まりました。

私は「議会広報特別委員会委員長」と「総務教育常任委員会副委員長」の任に着きました。職務を全うするため誠心誠意努力をしております。



議会報告 6月定例会

平成27年6月8日(開会)～3月26日(閉会)

平成27年6月定例会は、6月8日に招集され6月26日までの19日間の会期で開催されました。報告案件1件、幸田町立学校設置条例等の一部改正についてなど、単行議案5件、補正予算関係1件の計7件が上程され、いずれも原案通り可決しました。また陳情1件を審議し、不採択としました。

<議員提出議案>

特別委員会設置提案 3議案を提出、全員賛成で可決しました。

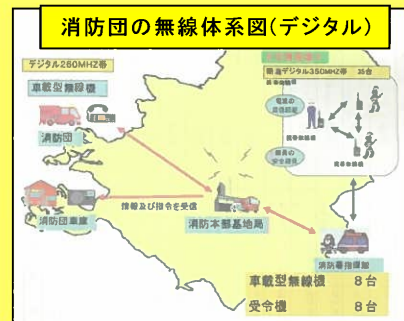
- ・ 防災・減災対策特別委員会(定数10人):自然災害対策に関する事項の調査研究
- ・ 地方創生特別委員会(定数10人):地方創生による企業立地に関する事項の調査研究
- ・ 幸田・三ヶ根駅前整備特別委員会(定数10人):2駅前周辺の整備に関する事項の調査研究

6月定例会 二主な議案二

消防救急無線のデジタル化整備工事・・・1億2420万円で落札(落札率:81.4%)

【事業の目的】

- ・ 消防救急無線については、電波法の変更により平成28年5月31日までにアナログ方式からデジタル方式に移行する必要があるため。



【デジタル化により期待される効果】

- ・ 秘匿性が高まり、個人情報保護を強化と画像情報等の多様なデータを活用できる。
- ・ 大規模災害時等における通信渋滞の回避を図れる。

二一般会計 補正予算関係二

総務費：庁舎 太陽光発電設備設置工事費 4550万円
 消防費：消防庁舎 太陽光発電設備設置工事費 3900万円



6月議会 一般質問に登壇 (6月10日) <質問の要旨>

① 「ふるさと納税」で産業の活性化を!

Q: 「ふるさと納税に関わる寄付金額と人数」ここ数年の傾向。

A: 平成26年度は2名の町内の方から200万円。平成23年度以降は町外からの寄付は無し。町内から町外への寄付者は平成26年度、106名の方が700万円となっています。

Q: 6月から、西尾市が「うなぎ、えびせんべい、抹茶」をお礼品として、スタートした。「ものづくりの町こうた」として、工業製品(自動車部品、ウォシュレット・健康マットレス・カメラなど)や、農産物(筆柿、なす、いちごなど)と焼酎など、全国に向け情報発信をし、地域経済と町全体の活性化の「キッカケづくり」に繋がっていく「ふるさと納税制度の活用」の考えは。

A: 町長: 制度を最大限に活用し、早急にスタートできるよう検討をする。

② 「防災・減災強化」を提案!



Q: 町内には、「避難場所が61ヶ所」と「避難所が71ヶ所」されているが、避難場所と避難所の定義と、住民への周知は。

A: 「避難場所」は、危険から逃れる場所、「避難所」は避難した住民が危険が無くなるまで滞在するところ。法改正に沿って、ホームページや広報で周知を図ります。

Q: 私が提唱してきた「シェイクアウト訓練」と「ボランティア支援本部設置訓練」が、町総合防災訓練で取り入れられた。この成果と新たな訓練の取り組みの考えは。

A: 命を守る基本動作と防災の意識づけとボランティアの方々も実践で知識向上に繋がった。

Q: 「安全安心の町 幸田町」も行政、住民、事業者も一丸となって、巨大地震や災害に果敢に立ち向かうため「防災基本条例」の制定をすべきだ。

A: 町長: 県と調整をしながら研究をしていきたい。

※皆さんの「生の声」を届け、答弁を引出しました!

声: 『ゲリラ豪雨の時など、アンダーパス道路の増水状況の映像公開を!』

Q: 幸田駅南の仲田、錦田、相見駅南ガードなど、3つのアンダーパスの増水状況を誰でも見やすい、WebカメラとHPをリンクさせたり、ケーブルテレビで放映するなど、住民にもリアルタイムで情報を届ける考えは。

A: 今年度中に、ケーブルテレビでリアルタイム画像を放映する計画で進めている。

声: 幸田町も『119番メール通報を可能に!』

Q: 耳の不自由な人から『幸田町は119番通報ができません。近隣では、あらかじめ登録しておけばメールで対応してくれます』町内在住者、通勤者も使える「119番通報メール」対応可能にすべきだ。考えは。

A: 今年度中には使えるように進めます。



＝トピックス＝

プレミアム付商品券は、7月1日から使えます! 【Q & A】

Q: 「どういう目的で、発行されるの?」

A: 国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用して地域経済の活性化を図る。

Q: 「応募数は、全部でどれだけあったの?」

A: 4469通あり、うち抽選で3722通の当選となりました。

Q: 「何%の人が、当選したの?」

A: 全体の当選率は、83.3%となりました。

Q: 「いつから、いつまで使えるの?」

A: 7月1日～12月末日までです。お忘れのないように!

Q: 「商品券は、どこのお店でも使えるの?」

A: 町内の指定されたお店です。(詳しくは町ホームページをご覧ください)

